

第72回（令和7年度）

彦根市美術展覧会

市展目録

会期 9月7日(日)～9月14日(日)

※9月8日(月)は休館日

時間 9時30分～17時00分

※9月14日(日)は15時00分まで

入場無料

会場

 **彦根市文化プラザ** (彦根市野瀬町187-4)
メッセホール棟

日本画	第1・2研修室 (2階)
洋画	メッセホール (3階)
彫刻	女性団体活動室 (2階)
工芸	第3研修室 (2階)
書	メッセホール (3階)
写真	展示ロビー・視聴覚室 (1階)
イラスト	ミニギャラリー (1階)



マークがある作品の写真撮影はご遠慮ください

「第75回彦根市秋の文化祭」主催事業／「第55回滋賀県芸術文化祭」参加事業



文化で滋賀を元気に!

< も く じ >

日 本 画	1
洋 画	4
彫 刻	9
工 芸	12
書	15
写 真	21
イラスト	27

< 審査員および委員 >

(敬称略)

	審査員	委 員
日 本 画	大野 俊明	眞野 康洸
洋 画	小川 満章	江竜 美子
彫 刻	宇治川 久司	志萱 州朗
工 芸	阿部 緑	伊藤 恵朗
書	足立 光嶽	安田 祥代
写 真	竹下 光士	石丸 孝
イラスト	原 公香	

日本画部門

審査員：大野 俊明 先生（京都府出身 京都市在住）



「椿摘む」

1973年 京都市立芸術大学専攻科
日本画専攻修了
1973年 第17回シエル美術賞展
3等賞 受賞
1987年 第9回山種美術館賞展
優秀賞 受賞
1990年 第1回両洋の眼展推奨 受賞
1991年 タカシマヤ美術賞
第1回新鋭作家奨励賞 受賞
1993年 京都市芸術新人賞 受賞
2017年 京都市芸術振興賞 受賞
2021年 第34回京都美術文化賞 受賞
2025年 第43回京都府文化賞
功劳賞 受賞

現 在 京都日本画新展 選考委員
日本美術家連盟 会員
京都日本画家協会 会員
成安造形大学名誉教授

＜総 評＞

昨年よりも多くの応募作品があり、今回も力作が多く見られた。何より心打たれるのは、作者自身の生活の中から生まれる絵画空間は、見る者に強い説得力とリアリティを与えてくれる。今後もこの地特有の魅力的な出品を望みます。



■ 市展賞 ■

「モネの池」

長崎 典子

第一印象は色彩の美しさにあります。技術の高さと、その画面構成が何より優れている力作です。



■ 特選 ■

＜彦根南ロータリークラブ 会長賞＞

「自然の営み」

早崎 清美

作品を構成している植物とバックの色のバランスがとても美しく仕上がりました。



■ 特選 ■

＜NHK大津放送局長賞＞

「荒神山笑う」

山岡 勝

桜の季節は芽生えの時、その淡い色調が実に見事です。作者自身の感覚でもあるのでしょうか。

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		ころころ……	大鹿 伸子	
2		ヤアヤアヤア あじさいの季節がやって来た	伊藤 恵朗	
3		緑雨	小泉 英子	
4		あじさい	馬場 初代	
5	佳 作	アラブの男 II	竹田 建行	
6		ナニワイバラ	牧野 昌代	無 鑑 査
7	特 選	自然の営み	早崎 清美	彦根南ロータリークラブ 会長賞
8	佳 作	茨	直野 智子	
9		境内の風	瀧沢 千代子	
10		蒸気機関車	曾我 光博	無 鑑 査
11		東近江太郎坊の石段	北川 好栄	
12		街	小島 充子	
13		消えゆくもの	眞野 康光	委 員
14		偲ぶ	内藤 悦郎	
15	特 選	荒神山笑う	山岡 勝	N H K 大津放送局長賞
16		椿摘む	大野 俊明	審 査 員
17	市 展 賞	モネの池	長崎 典子	
18		静かなとき	本田 充	無 鑑 査
19		Rock wall	中溝 治美	
20		収穫の頃	松居 直子	無 鑑 査
21		泰山木にほひける	志摩 まゆみ	

洋画部門

審査員：小川 満章 先生（岐阜県出身 岐阜市在住）



「cante」

1993年 京都工芸繊維大学 卒業
2004年 日洋展日洋賞 受賞
2009年 日展東海展中日賞 受賞
日展特選 受賞（同2013年）
2010年 岐阜市芸術文化奨励賞 受賞
2013年 損保ジャパン美術財団賞 受賞
2018年 日展審査員（同2023年）
2020年 日展会員賞 受賞

現在 日展会員
日洋会理事
中部日展会理事
CBCクラブ会員

＜総評＞

どの作品からも、作者が自身の感動を色と形で表現しようと真摯に取り組んだ様子がうかがえました。内容も多岐にわたり、出品者の皆さんがそれぞれの表現を追求する努力が感じられ、質の高い作品が多くありました。



■ 市展賞 ■

「思う」

山田 博子

白い鳥が目を惹き、そこから作品世界に引き込まれる。柔らかな筆致と温かい色調で、高い完成度を実現している。



■ 特選 ■

〈産経新聞社賞〉

「錆色の荒野」

馬淵 万智子

枯れ草の静寂の中に、赤錆色のドラム缶が在る。穏やかな風景でありながら、思索を促す余韻を残す。



■ 特選 ■

〈公益財団法人 平和堂財団 理事長賞〉

「古（いにしへ）より咲く」

清水 悦子

儂く美しい桜の花と、それを咲かせる老木。作者の感動が優しく静かに伝わってくる。



■ 特選 ■

〈稻枝商工会 会長賞〉

「想い」

小松原 正二

人物が丁寧に描かれている。空間の筆の跡による色面からも心理描写が感じられ、内面に迫る表現となっている。



■ 特選 ■

〈BBC びわ湖放送賞〉

「彼岸と此岸の狭間」

太田 靖之

花を写実的に描くだけではなく、独自の構成によって幻想的な表現を追求し、精神性を高めている。



■ 特選 ■

<中日新聞社賞>

「画室風景」

今村 栄子

グレーの室内の中にバランスよく配置された明るい色彩が心地よい。絵を描く楽しさが生き生きと伝わってくる。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「巖冬Ⅱ」

門野 三喜重

自然の荘厳さが、高度な絵画技術によって表現されている。構図は的確であり、色彩も深く美しい。

洋画部門

展示場所 : メッセホール (3階)

No.	賞	題名	氏名	備考
1		cante	小川 満章	審査員
2		薔薇	江竜 美子	委員
3		SMILE	菅森 菜穂子	無鑑査
4		再生	林 章江	無鑑査
5		帰り道	百々 修子	無鑑査
6		時を紡ぐ	北川 八恵子	無鑑査
7		生ききる	久田 知恵子	無鑑査
8		麦の穂が乾く頃	土屋 幸	無鑑査
9		街広場	比喜多 利彌	無鑑査
10		すこやかに	中野 裕子	無鑑査
11		初夏伊吹	小田柿 寿郎	無鑑査
12		風化	小田柿 弘子	無鑑査
13		悠	佐渡 一清	無鑑査
14		薔薇	西脇 操	無鑑査
15		浮橋	今井 博子	無鑑査
16		静物	福原 善行	無鑑査
17		少年とバラ	押谷 たか子	無鑑査
18	佳作	雲の向こうから	杉野 澄子	
19	佳作	生命の源	森口 政博	
20	市展賞	思う	山田 博子	
21	佳作	秋色	西村 通子	
22	佳作	こもれび II	川崎 みどり	
23	特選	錆色の荒野	馬淵 万智子	産経新聞社賞
24	特選	古(いにしへ)より咲く	清水 悦子	公益財団法人 平和堂財団 理事長賞
25	特選	画室風景	今村 栄子	中日新聞社賞
26	特選	彼岸と此岸の狭間	太田 靖之	BBCびわ湖放送賞
27	無鑑査奨励賞	厳冬II	門野 三喜重	無鑑査
28	佳作	庭園	八木 清子	
29	特選	想い	小松原 正二	稲枝商工会 会長賞
30		夏の朝	瀬戸口 園子	
31		釣れた?(日野ダム)	松野 幸恵	
32		桜日和にドライブ —近江八幡にて—	宮地 正子	

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
33		ほほえみ	東條 悟	
34		伊根の酒蔵	小野 淳	
35		川の流れる街	中村 稔	
36		明日	鈴木 真知子	
37		係留（松原橋附近）	廣瀬 巖	
38		湖北の隧道	小山 信子	
39		静謐（松原下屋敷）	堀畑 末一	
40		蓮	門野 信子	
41		「ありし日」（多賀河内の廃屋）	松林 憲一	
42		涼	上田 和光	
43		参道をゆく	服部 和夫	
44		芹川上流	目戸 てるよ	
45		月夜の林	中野 正雄	
46		春うらら	盛岡 淳子	
47		利尻の夏	木下 二二男	
48		ちょっと甘い！	川瀬 加代子	
49		八百万の仏様	高田 徳一	
50		小さな苗と大きな夢	夏川 郁子	
51		曾根沼散歩道	片粕 瑛子	
52		カンナ	関 壽賀子	
53		誕生日の花束 一歳の数だけ	伊藤 壽美江	
54		朽ちる	中田 加代子	
55		花しょうぶ通り	中島 郁代	
56		神社の古木	小林 淑	
57		平和を祈る	田島 久子	
58		浮御堂	西山 敏	
59		光を帯びる	藤本 厚子	
60		みなれし近くのどるい	西山 しげき	
61		田舎道	古野 信雄	
62		外は雪ナンダニャ〜	中島 栄美子	
63		清流	速水 富代	
64		創業100年	田中 真理	
65		生きる	久田 満	

彫刻部門

審査員：宇治川 久司 先生（京都府出身 京都市在住）



「育雛」

1976年 京都精華短期大学
立体造形専攻科 卒業
1974年 第26回京展 市長賞受賞
1984年 第16回日展 特選受賞
1986年 第18回日展 特選受賞
1994年 第46回京展 松田賞受賞
2000年 第10回記念
アートヒル三好ヶ丘
彫刻フェスタ 特選受賞
2006年 文化庁在外研修
イタリア カッラーラ美術大学
現在 日展特別会員
京都彫刻家協会会員
日本美術家連盟会員

＜総評＞

木彫の作品の素晴らしさに感動しました。時間をかけてコツコツと制作されている姿が目には浮かびます。今後、木だけにとらわれず、さまざまな素材で自由な発想を持って、新しいことにチャレンジして行ってください。



■ 市展賞 ■

「養蚕天女」

清水 弘司

人体の流れが美しく、また左右の衣の構成が作品の良さを引き立てています。ノミの使い方が巧みで、作者の技量が伝わってきます。



■ 特選 ■

＜彦根ロータリークラブ 会長賞＞

「愛染明王座像」

竹内 嘉明

大作に取り組まれたことに感動しました。細部まで緻密に彫りこみ、全体のバランスもきちんとまとめ上げられています。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「海さそりの仲間 アクティラムス」

三浦 正夫

作者の感性で、自分のかたちを創りあげています。木の使い方が上手く、特に木目が効果的に活かされています。

彫刻部門

展示場所 : 女性団体活動室 (2階)

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		吉林からの留学生	志萱 州朗	委 員
2	無鑑査奨励賞	海さそりの仲間 アクティラムス	三浦 正夫	無 鑑 査
3		トーテム	一円 敏彦	無 鑑 査
4		小仏薬師	桂田 滋康	
5	佳 作	松にタカ	谷口 斉	
6	市 展 賞	養蚕天女	清水 弘司	
7		育雛	宇治川 久司	審 査 員
8	特 選	愛染明王座像	竹内 嘉明	彦根ロータリークラブ 会長賞
9	佳 作	憩いの時空	樋口 周市	
10		不動明王座像	佐木 勉	
11		竹 HARLEY	目戸 律夫	
12		シェアしようぜ	北川 豊海	

工芸部門

審査員：阿部 緑 先生（京都府出身 京都市在住）



「緑風」

1985年 京都市立芸術大学大学院
美術研究科工芸専攻染織修了
1987年 京展 市長賞 他受賞
1990年 京都工芸美術展 特別優秀賞受賞
1992年 京都府文化賞 奨励賞受賞（海外研修）
1992年 京都工芸美術作家協会展 奨励賞受賞
2005年 World Batik Conference Boston
講演・展覧会（U.S.A）
2013年 日本新工芸展 京都府知事賞 他受賞
2016年 Salon des Beaux Arts（FRANCE）
特別審査員賞受賞

現在 日展会友 日本新工芸家連盟会員
京都工芸美術作家協会理事
日本テキスタイル協会会員
フランス国民美術協会準会員
大阪成蹊大学名誉教授

＜総評＞

工芸は多様な素材と技法、そして作者の創造性、感性が結びつき、多様な作品が生まれるところに魅力があります。本工芸部門では現代社会に目を向けたもの、自らの生活体験から制作されたものなど、様々な素材と技法を駆使し、生き生きとしたエネルギーを感じる作品が出品されています。いずれも魅力ある作品です。



■ 市展賞 ■

「世界平和を！」

伊藤 安世

国際的な紛争や戦争をテーマに発言力のある作品です。ダイナミックに二色で分けられた画面の構図も巧みであり、青い地球や自然と争いの絶えない世界が描き分けられ、作品のコンセプトがしっかりと伝わる秀作です。



■ 特選 ■

<読売新聞社賞>

「湿原に咲く」

古野 信子

自然の素材が有するマチエールや表情を巧く使い分け、湿原に漂う静謐な空気感や水芭蕉が咲く清らかなせせらぎなどを感じさせます。全体的な構図が素晴らしく、雄大な風景を感じる臨場感ある作品です。



■ 特選 ■

<KBS 京都賞>

「長崎新中華街」

田口 巳千栄

中華街の賑わいや雰囲気伝わる楽しい作品です。透視図法を巧く取り入れた奥行き感のある構図、ダイナミックに表現された提灯や表情豊かな人物表現など、画面上の色彩、形象共に上手くコントロールされた作品です。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「秋・見いっけ！」

山本 勝彦

表情豊かな葉や木の実が画面一杯にバランス良く散りばめられた美しい作品です。自然から得た形や色彩を自らしっかりと消化し、新たに生み出された一つ一つの形象や色彩、構図には細やかな工夫が見られる魅力ある力作です。

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		外濠に映る春	古川 勇	
2		河童の父と子	佐木 勉	
3		憧れのガーデン	武野 美和子	
4		鏡獅子	山川 美江	
5	特 選	長崎新中華街	田口 巳千栄	K B S 京 都 賞
6	市 展 賞	世界平和を!	伊藤 安世	
7	特 選	湿原に咲く	古野 信子	読 売 新 聞 社 賞
8	無鑑査奨励賞	秋・見いっけ!	山本 勝彦	無 鑑 査
9		緑風	阿部 緑	審 査 員
10	佳 作	かけっこ	近藤 友子	
11		KINTSUGI II	手塚 智子	
12		銀山温泉(冬)	遠藤 裕子	
13		彦根城	上坂 正夫	
14		ヒマワリ	高田 イツ子	
15		魅せられて一輪	岩泉 三朗	
16	佳 作	亜鉛結晶釉掛花器	佐々 哲三郎	
17		行進曲	伊藤 恵朗	委 員
18		茜雲	大野 義孝	
19	佳 作	陽だまり	松尾 直樹	
20		鎬紋台付鉢	川添 大介	
21		雅「みやび」	國門 登美恵	
22		” 豊臣兄弟 ”	山口 四郎	

書部門

審査員： 足立 光嶽 先生 （ 京都府出身 京都市在住 ）



「喜神」

2013年 第30回読売書法展

読売大賞 受賞

2014年 改組第1回日展 特選

2022年 第9回日展 特選

現 在 日展準会員

読売書法会常任理事

日本書芸院董事

興朋会常任理事

京都新聞文化センター講師

＜総 評＞

公募展だけが書ではないと、改めて感じさせられました。

大きさも作風も表具も関せず心に迫る作品にいくつも出会えました。感謝です。昨年より4点増、その内高校生が2名、来年が楽しみです。



■ 市展賞 ■

「劉同升詩」

小林 由喜枝

行間が実に美しい。冴えた線質、文字の大小、一字中の余白、全体を貫くリズム感が心地よい。

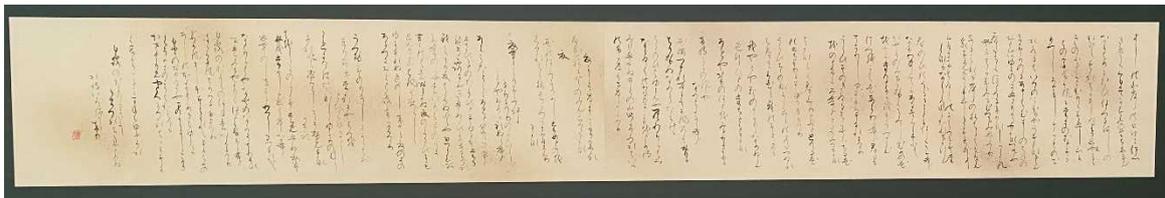
■ 特選 ■

< 京都新聞賞 >

「臨重之集」

黒野 康文

臨書ではありますが、書き出しから落款まで一点の乱れも見せず書き上げた練度に感服。





■ 特選 ■

<エフエムひこね賞>

「李嘉祐詩二首」

柴田 翠湖

とうとうと大河が流れるが如き穏やかで心和む作品です。鋭角な節を避けた筆使いが妙。

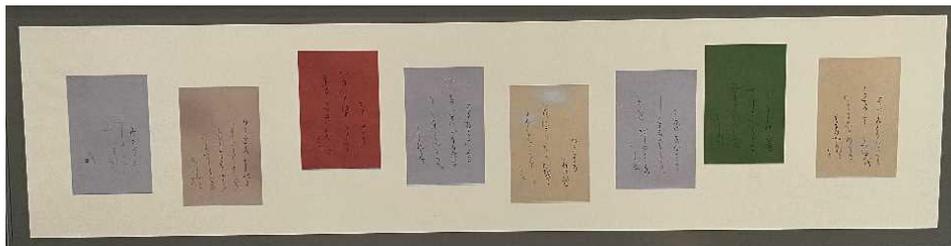
■ 特選 ■

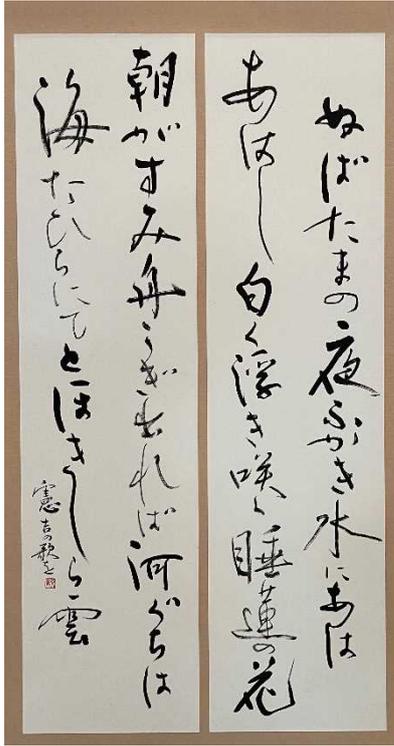
<彦根青年会議所 理事長賞>

「あさみどり」

岡野 あき

料紙の色を楽しんでいる姿が目につかびます。優雅な風情と雅な線質が心地よい。





■ 特選 ■

〈彦根市議会議長賞〉

「しら雲」

田中 八重子

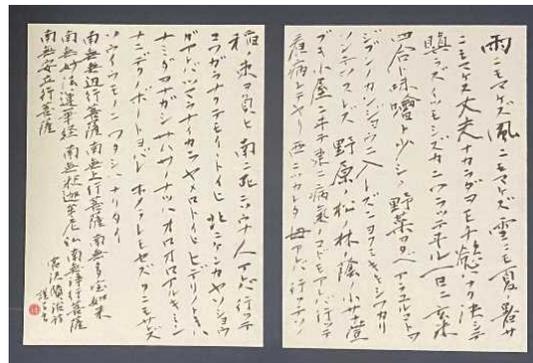
楽しげに卒意的に見えながら筆は行く所までしっかり行ききり、計算は見せないで、工夫されている。

■ 無鑑査奨励賞 ■

「宮沢賢治詩」

内西 謹子

この詩に共鳴した心情が筆先から吐露した秀作。一紙め、二紙めカナ、二紙め菩薩名連記の三転が妙。



No.	賞	題名	氏名	備考
1		藤樹先生の句	若松 信子	
2		黄庭堅詩	若松 淡雪	
3		蕪村の句	北村 恵子	
4		藤波	田中 利佳	
5		魔女	北村 日佐美	
6		大汕詩	川崎 保博	
7		杜甫詩	疋田 礼子	
8		言葉の風景	西田 寿子	
9		千字文より	間塚 徹	
10		張著詩	江竜 美子	
11		臨鄧石如	福田 大士	
12	佳作	臨王鐸	小槻 知優	次世代芸術奨励賞
13	佳作	しら雪	橋本 洋子	
14	佳作	明詩三首	佐野 美千子	
15	佳作	方其義詩	細溝 恵	
16		秋日偶成	北川 依子	無鑑査
17		葦手下絵百人一首六首	西脇 大雄	無鑑査
18		梅	堤 豊宏	無鑑査
19		五言句	徳山 清奈	無鑑査
20		おもかげ	森野 椿草	無鑑査
21		天地	岡野 有泉	無鑑査
22		許渾詩	中村 哲	無鑑査
23	無鑑査奨励賞	宮沢賢治詩	内西 謹子	無鑑査
24		喜神	足立 光嶽	審査員
25		江声を聴く	安田 祥代	委員
26		空蝉	堤 笑子	無鑑査
27		形見とて	川村 啓子	無鑑査
28		漢詩	高萩 有子	無鑑査
29		小倉百人一首より	安居 孝昌	無鑑査
30		山家集	後藤 有啓	無鑑査
31		與道逍遥	新美 興之介	
32		五言句	林 悦子	

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
33		千字文	外村 房子	
34		漢語	小林 剛	
35		王鐸 願余々帖	西野 源太郎	
36		田車子	谷川 みゆき	
37		平家物語の一節	小森 寿美江	
38		呉昌碩臨石鼓文より鹿雉兎	島野 修	
39		常建「送宇文六」の漢詩	高井 泰子	
40		老子より	辻岡 逸人	
41		井伊直弼御歌	平居 圭子	
42		風花雪月	松宮 眞由美	
43	特 選	李嘉祐詩二首	柴田 翠湖	エフエムひこね賞
44	特 選	臨重之集	黒野 康文	京 都 新 聞 賞
45	市 展 賞	劉同升詩	小林 由喜枝	
46	特 選	しら雲	田中 八重子	彦根市議会議長賞
47	特 選	あさみどり	岡野 あき	彦根青年会議所 理事長賞
48		漢語	田口 昭子	
49		祖受命	竹中 翠香	
50		戴復古句	久保田 謙治	
51		臨王献之節	押谷 綾子	
52		子規の句	影山 千恵乃	
53		大江千里の句	佐藤 和子	
54		王猷定詩	川村 圭子	

写真部門

審査員：竹下 光士 先生（京都府出身 京都市在住）



「鍾乳石の造形」

武蔵野美術大学油絵学科卒業 地形写真家

写真展

- 2022年 「中央構造線 MTL」
ニコンギャラリー 東京・大阪
- 2023年 「聳えると崩れるは表裏一体」
ケンコートキナーギャラリー
東京中野
- 「旅で巡る感動の旅」
エプサイトギャラリー
東京有楽町

著書

- 2014年 「長時間露出撮影のすべて」
- 2016年 「朝景・夕景撮影のすべて」
- 2020年 「GEOSCAPEJAPAN」
- 2023年 「槍・穂高・上高地 地学ノート」
- 2025年 「日本の美しい地形・地層図鑑」

現 在

- 日本写真家協会会員（JPS）
日本自然科学写真協会会員
日本地質学会会員
ニコンカレッジ講師

<総 評>

今年から審査を担当します竹下です。自然風景からスナップ、ストレートフォトからアート系まで、多岐にわたりハイレベルな作品が揃っていて、とても驚きました。賞の選考にあたっては、独自の視点があるかを重視しました。



■ 市展賞 ■

<滋賀県芸術文化祭奨励賞>

「改札口」

高橋 勲

改札のシーンだが、無機的な機械に管理される現代人の在りようを示唆しているようにも見える。



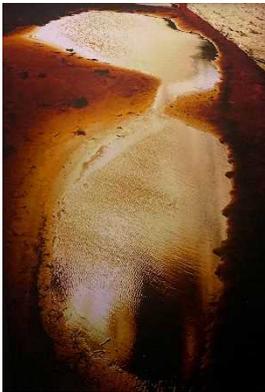
■ 特選 ■

<彦根タイムス社賞>

「終焉」

河崎 彰

モノクロにすることで朽ちるリアルさが消えて、美しいイメージが広がる。プリントが素晴らしい。



■ 特選 ■

<朝日新聞社賞>

「湖岸のおくりもの」

山口 銀治

不思議な大地の地形を眺めているかのようなスケール感がある作品。大胆な切り取りが見事。



■ 特選 ■

<彦根ライオンズクラブ 会長賞>

「妖艶」

中川 良次

絵画を見るような作品。ロケーションの選定からライティングまで見事。仕上げのトーンがやや硬い印象。



■ 特選 ■

<彦根文化新聞社賞>
「夏の水辺」

本田 義則

主役のトンボも魅力的だが、その周囲に広がるオレンジ色の水面と岩のロケーションにも惹かれる。

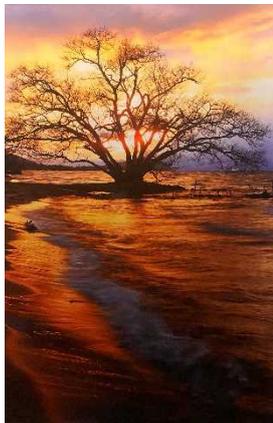


■ 特選 ■

<彦根商工会議所 会頭賞>
「弁慶」

青山 敬子

伝統文化の重厚な光と構成が秀逸。いつまでもこれが残るように記録することも写真の重要な使命。



■ 特選 ■

<彦根観光協会 会長賞>
「茜色の渚」

辰巳 敬造

スローシャッターを使って波の表情をうまく捉えている。影側の波のブルーが効いている。



■ 特選 ■

<滋賀彦根新聞社賞>
「しばし休憩」

小川 武司

緊張から解放された演者の表情が素晴らしい。舞台ばかりではなく裏にまわるとこのようなシーンにも出会える。



■ 特選 ■

<毎日新聞 大津支局長賞>

「憧れの新幹線」

若松 庄三

スポットライトに浮かび上がる流線型の新幹線が美しい。記念写真を撮る男の子の心情が伝わってくる。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「寒雀舞う」

三島 康嗣

白紙に墨でサッと描いた絵画を見ているよう。大胆に画面の左上をあけた「間」の使い方が秀逸。

写真部門

展示場所 : 展示ロビー・視聴覚室 (1階)

No.	賞	題名	氏名	備考
1		鍾乳石の造形	竹下 光士	審査員
2		雪国の春	石丸 孝	委員
3	市展賞	改札口	高橋 勲	滋賀県芸術文化祭奨励賞
4	特選	終焉	河崎 彰	彦根タイムス社賞
5	特選	湖岸のおくりもの	山口 銀治	朝日新聞社賞
6	特選	妖艶	中川 良次	彦根ライオンズクラブ会長賞
7	特選	夏の水辺	本田 義則	彦根文化新聞社賞
8	特選	弁慶	青山 敬子	彦根商工会議所会頭賞
9	特選	茜色の渚	辰巳 敬造	彦根観光協会会長賞
10	特選	しばし休憩	小川 武司	滋賀彦根新聞社賞
11	特選	憧れの新幹線	若松 庄三	毎日新聞 大津支局長賞
12	佳作	上手くいったぞ	保永 重治	
13	佳作	ぐるぐる花筏	武田 繁康	
14	佳作	アートな沿線	高橋 與志勝	
15	佳作	光線	青木 宏樹	
16		秋の映り	鈴木 栄子	
17		皆んなで渡れば怖くない	高田 徳一	
18		出番待ち	伊藤 実男	
19		静寂な目覚め	北村 圭子	
20		この谷を下れば	西村 鉄夫	
21		神秘的先に!	岡田 孝太郎	
22		疾風怒涛	北村 栄一	
23		孤高の息吹	田中 久雄	
24		虫に食われて幾千年	林 久雄	
25		忙中有閑	伊吹 章	
26		ちょっと待って	宮西 新市	
27		こっちへお願いしま-す	門野 久昭	
28		幸せMAX	藤居 治行	
29		冬じたく	小林 正治	
30		願いは稔りへ	上田 善子	
31		幸せの時間	脇阪 義孝	
32		たそがれどき	居原田 順治	
33		夜明けの海峡	石井 勝男	

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
34		春を待つ	夏川 宗一	
35		静謐	下島 耕治	
36		源氏の舞	山中 均	
37		ランウェイ	津田 吉彦	
38		そよげ 風。未来の子らに	二階堂 登美子	
39		眼下の千本桜	村田 朝男	
40		白川村の秋	白井 逸人	
41		がんばって咲いてます。	白井 展枝	
42		私の幸福	武田 年雄	
43		共演	小林 伊三夫	
44		雨上がり	岸辺 剛	
45		休息	山根 数衛	
46		睡蓮	沢田 初枝	
47		吉	菅野 哲郎	
48		ひと休み	小財 郁男	
49		手筒の夏	強力 美津雄	
50		火の舞	平田 芳美	
51		豪快勇壮花火師	上田 弘行	
52		夏の陽	北村 隆彦	
53		錦秋の寸景	近野 恭美	
54		秋を愛でる	渡辺 克実	
55		夕刻のHATOスタジアム	瀧波 博之	
56		湖畔のひととき	相田 行雄	無 鑑 査
57		池塘明けゆく	北村 勝	無 鑑 査
58		けあらし	若林 武司	無 鑑 査
59		光る川	三竿 恵理子	無 鑑 査
60		自然の造形	山口 善一	無 鑑 査
61		都会の静けさ	北川 剛	無 鑑 査
62	無鑑査奨励賞	寒雀舞う	三島 康嗣	無 鑑 査
63		輝く湖岸	近野 光生	無 鑑 査
64		宇宙への参道	塩谷 勉	無 鑑 査
65		共演	鈴木 秀人	無 鑑 査
66		お寺でライブ	大前 岳雄	無 鑑 査
67		静寂の刻	佐竹 鉄次郎	無 鑑 査
68		無数の星	池田 誠	無 鑑 査

イラスト部門

審査員：原 公香 先生（京都府出身 京都市在住）

イラスト実績

- 2015年 TOYOTA 自動車
カレンダーイラスト制作
- 2015年～2016年
阪急 17 番街ウィンドウビジュアル
イラスト制作
- 2018年 ギフトショップ「シャディ」
包装紙イラスト制作
- 2020年 CELEO クリスマスポスター
イラスト制作
- 2021年 オカダヤ
カレンダーイラスト制作
- 2022年 郵便局年賀状印刷サービス用
イラスト、デザイン制作
- 2023年より
障害者市民事業ネットワーク
カレンダーイラストを担当



「希望の星 パレード」

現 在 成安造形大学
イラストレーション領域講師

＜総 評＞

作品点数は少なめでしたが、表現としてはそれぞれのスタイルを持った、力強く個性的な作品が集まりました。未来へ続くフレッシュなエネルギーが感じられ、今後も色々なイラストが制作されることを期待します。



■ 市展賞 ■

＜次世代芸術奨励賞＞

「con musica」

北川 万智

空間の広がりを感じられる美しい構成です。音楽を奏でる楽しさが感じられる作品になっています。



■ 特選 ■

<彦根市教育委員会教育長賞>

<次世代芸術奨励賞>

「プリンアラモード」

長田 遥

とても丁寧に艶や陰影が描き込まれており、美味しさを伝えたいという意気込みが感じられます。

イラスト部門

展示場所 : ミニギャラリー (1階)

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		希望の星 パレード	原 公香	審 査 員
2		pian	清水 亜弥	
3	佳 作	私を見つめて。	高橋 縁	次世代芸術奨励賞
4	市展賞	con musica	北川 万智	次世代芸術奨励賞
5	特 選	プリンアラモード	長田 遥	彦根市教育委員会教育長賞 次世代芸術奨励賞
6		無題	杉野 くるみ	

<出品数>

(点)

	一般	無鑑査	審査員等	計
日本画	15	4	2	21
洋画	47	16	2	65
彫刻	8	2	2	12
工芸	19	1	2	22
書	39	13	2	54
写真	74	13	2	89
イラスト	5	0	1	6
計	207	49	13	269

*「無鑑査」…過去に市展賞または特選を3年連続受賞、もしくは通算で5回受賞された方です。無鑑査の方の出品作品は、審査員の鑑査を受けることなく展示されます。

<入賞および入選数>

(点)

	市展賞	特選	佳作	入選	無鑑査奨励賞	計
日本画	1	2	2	10	0	15
洋画	1	5	5	36	1	48
彫刻	1	1	2	4	1	9
工芸	1	2	3	13	1	20
書	1	4	4	30	1	40
写真	1	8	4	40	1	54
イラスト	1	1	1	2	0	5
計	7	23	21	135	5	191

*「無鑑査奨励賞」…無鑑査作品の中で最も優秀な作品に贈られる賞です。

主催：彦根市

後援：彦根市教育委員会、彦根市議会、彦根商工会議所、稲枝商工会、
公益社団法人彦根観光協会、公益社団法人彦根青年会議所、
彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、彦根ライオンズクラブ、
公益財団法人平和堂財団、NHK大津放送局、BBCびわ湖放送、
KBS京都、朝日新聞大津総局、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、
中日新聞社、京都新聞、産経新聞社、彦根文化新聞社、彦根タイムス社、
滋賀彦根新聞社、エフエムひこねコミュニティ放送株式会社 <順不同>



彦根市美術展覧会事務局(彦根市観光文化戦略部 文化振興課)
〒522-8501 彦根市元町4番2号 彦根市役所4階
TEL.0749-23-7810 FAX.0749-21-3080



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に